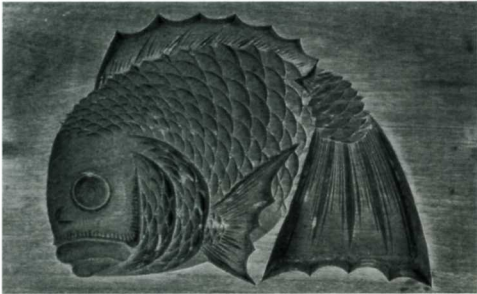


小山市立博物館

博物館だより

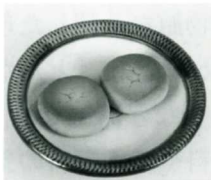
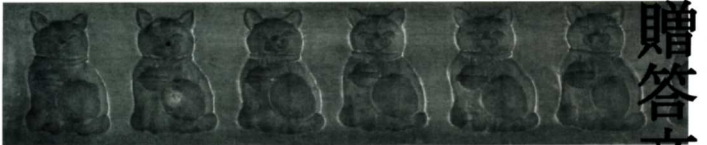
2009
8.15

49



展示内容

- I 和菓子の歴史
- II 季節の和菓子と贈答文化
- III 和菓子の道具と職人



甘味を贈る 和菓子の贈答文化

市制55周年記念第54回企画展

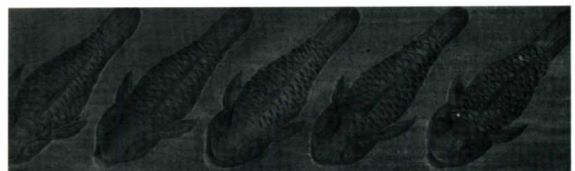


和菓子は、長い歴史と伝統に支えられてきた日本固有の食文化です。その甘みと美しい造形は人々を魅了し、滋養が付き保存性も高いことから、古くから贈答品として用いられてきました。

この展示では、菓子文化の花開いた江戸時代から現代までの和菓子の歴史を振り返り、贈答文化を始めとして和菓子が人々の暮らしの中でどのような役割を果たしてきたかを紹介します。



平成21年10月10日(土)～12月6日(日)



開館時間／午前9時～午後5時 (但し入館は4時30分)

入館料／大人 200 円、高校・大学生 100 円、小・中学生無料

休館日／毎週月曜日 (祝祭日は除)、毎月第4金曜日、

祝日の翌日

菓子木型 山本屋 (市内下石塚) 所蔵

車屋美術館・間々田市民交流センター 開館 市制 55 周年 記念
特別展 『博物館と美術館のあるまち「乙女」』

平成 21 年 4 月、博物館と同じ間々田地区に誕生した小山市間々田市民交流センターと小山市立車屋美術館の開館を記念して、博物館と美術館のあるまち「乙女」をテーマにした展示を開催しました。

発掘調査でみつかったものや昔の記録類、民具など、「乙女」についてのさまざまな資料を紹介しました。ふだん常設展にある乙女河岸の復原模型を企画展示室に移動、よりくわしく見てもらおうと、双眼鏡を用意しました。来館者の方からは、「船の細部がみえた」「俵や材木などいろいろな荷物がよく分かった」「人形の表情など細かく作ってあることに驚いた」などの感想をいただきました。



いつもとはちがった角度から乙女河岸の様子をご覧いただけたようでした。なお、かつて存在した蒸気船や人車鉄道については、資料がなく、地元の方々や近隣の関係機関から、貴重な写真などをご提供いただきました。皆様ご協力ありがとうございました。

栃木県立博物館地域移動博物館「キラッ！大地の下の輝く世界」



7 月 1 8 日（土）から 8 月 2 3 日（日）にかけて「キラッ！大地の下の輝く世界」を開催しました。岩石や鉱物などの資料を展示し、栃木県の岩石から見た日本列島の歴史や栃木の火山灰を通して過去の噴火に迫るなど、展示資料からわかる歴史を紹介しました。また、火山灰を実際に観察したり、「剥ぎ取り標本」を展示したりと、来館された方々がより間近に本物を見られるようにしました。記念講演会では、展示を担当された県立博物館の布川嘉英氏、岩本直哉氏による展示解説の時間がありました。参加者の質問に直接答えていただく場面が随所に見られました。時間が過ぎるのを忘れ、熱心に解説を聞かれる参加者のみなさんの姿が印象的でした。

中学生の職場体験



中学校における進路学習の一環として、職場体験学習が計画され、ここ博物館もその受け入れ先として毎年依頼があり、中学生が訪れてきます。博物館を希望した理由を尋ねると、「歴史のことを学びたかった」、「どんな仕事をしているのか知りたかったから」など様々です。期間は 3 日以内がほとんどで、民俗資料や考古資料の整理、各講座の準備や体験など、博物館ならではの仕事を体験します。時には、貴重な資料に驚くことも。初めて体験することや知ることと同時に、学校の外でも大切なことを学ぶ中学生。これをきっかけに将来博物館で働きたいという夢も持ってもらえたらなあと思います。

収蔵資料案内



注口土器 (縄文晩期 亀ヶ岡式)

乙女北浦遺跡出土遺物

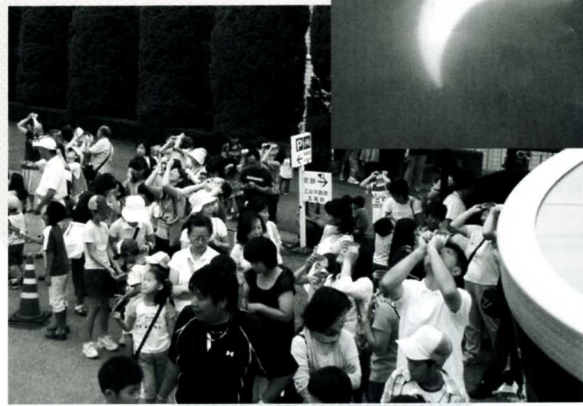
当館常設展示室には複雑な模様のある縄文土器や耳飾りなどが展示されています。これらの多くは、乙女北浦遺跡から出土したものです。乙女北浦遺跡では、昭和51～53年(1976～78)にかけて、乙女地区の区画整理事業に伴う発掘調査がおこなわれました。発掘調査では、縄文から近世にかけての数多くのものがみつかっています。なかでも、特に特色のある縄文時代晩期(紀元前1000～400)の資料は、小山市の指定文化財になっています。指定となった資料のかたちや模様は、亀ヶ岡式という東北地方の様式が強いもので、当時の文化がこの地方の影響を受けていたことがうかがえます。

日食観測会

7月22日(水)今世紀最大と言われている皆既日食がありました。日にちが近づくにつれメディアでも大きく取り上げられ、関心の高さがうかがわれました。ここ小山でも9時55分ごろから12時半ぐらいまで部分日食が起こり、ピークの11時12分ごろには7割ちょっと欠けるということで、当館でも日食観測会を開きました。

観測当日は、あいにくの曇り空でしたが、多くの参加者の願いが通じたのか、時折薄くなった雲の隙間から太陽が顔を覗かせました。10時10分ぐらいから11時20分ぐらいまで見えたり隠れたりする欠けた太陽を日食めがね、遮光板などを使い観測できました。参加者は、日食の様子を見逃さないよう幾度となく空を見

上げ、時々見える欠けた太陽を観察し感動していました。残念ながらすっきりしない天気だったので、ほっしー★OYAMA号での観測や、ピンホールを利用して太陽を投影することはできませんでしたが、多くの参加者に感動をあたえ、宇宙への興味関心を高められた観測会になりました。



コラム博物館職員雑記帳

市制55周年を迎えて

館長 細井 幸宏

小山市は昭和29年3月に市制を施行してから、今年で55周年を迎えました。施行当時、3万3千だった人口が、現在は16万人を越え、県下第2位となり、現在も発展を続けています。このように発展した裏には、多くの市民や先輩たちの並々ならぬ努力を見逃すことはできません。

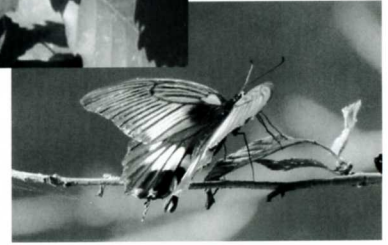
特に、昭和30年代から始まった企業の誘致活動は現在でも行われ、交通の便において優れている当市には大小さまざまな企業が進出し、その結果市の財政に潤いを与えてくれています。

それと相まって、急激な人口増に対処するため、市内各地で、区画整理事業が開始されました。特に、全国一の規模(面積は258ha)とも言われた城南地区の区画整理事業は、昭和48年に開始され、35年の歳月をかけて完了しました。今では、城南地区は小山市の商業の中心地となり、休日には多くの買い物客が訪れ、大変な賑わいを見せています。

このように、市が誕生してからほんの数十年で、小山市は大きく様変わりしていますが、長い歴史の中で小山市がたどってきた道のりを知ることとはとても意義深いことであり、博物館勤務となった今、自分にそのよい機会を与えられたものと思っています。

季節の一枚「ナガサキアゲハ」

暖かくなると生き物たちが元気に活動しだします。チョウもそのひとつです。写真のチョウはナガサキアゲハです。このチョウは、栃木県では見られなかった南方系のチョウですが、徐々に北上して数年前から栃木県南部で目撃され、昨年はここ博物館の近くでも見られました。これより先にやはり南方系のチョウであるツマグロヒョウモンも姿を見せるようになりました。今年は普通に見られるようになってしまいました。あと数年たつとナガサキアゲハもそうなるかもしれません。



(写真撮影：平田輝明氏)

平成21年度後期観望会の見どころ

毎月第2土曜に定例観望会を開催しています。昼間は、太陽の観測を行い、夜は、季節ごとに見られる星座など紹介しながら星の観測をします。これからの季節は天気も比較的良く、空気も澄んできますので星の観測には良い時期です。星空の見所もたくさんあります。11月14日(定例観望会の日)には、くじら座にある変光星ミラ(約330日かけて2等から10等まで明るさが変わる)が一番明るくなったところを見られる予想になっています。そして、秋から冬にかけ太陽系最大の惑星木星がやぎ座付近に見られます。その後冬から春にかけては、かに座付近に赤く輝く火星が見られるようになります。惑星だけでな

く、冬はオリオン座をはじめ、有名な星座や星団、明るい星がたくさん見られ、とてもにぎやかな星空を見ることができます。観望会へ参加してみるのはもちろん、天気がよければ夜空を眺めてみてはいかがでしょうか。



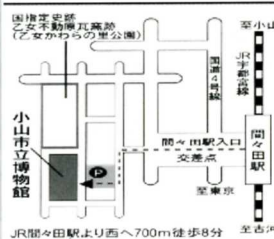
博物館ボランティア・天文ボランティア募集中

博物館には2つのボランティアグループがあります。「博物館ボランティア」は、常設展示の解説活動を軸に、講座の補助、館周辺の清掃活動など、さまざまな活動で博物館事業に協力し、月の第一土曜日には定例勉強会を開いています。一方、「天体ボランティア」は、主に博物館主催の定例観望会の補助活動を行っています。興味のある方は、まずは実際にボランティア活動を見学してみたいでしょうか。お気軽に博物館までお問い合わせください。お待ちしております。

寄贈者芳名 (平成21年1月～6月)

次の方々から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ・豊田敬一 (小山市) 三尺2本
- ・佐藤由紀子 (下野市) 着物1枚
- ・高木富江 (小山市) 着物1枚、帯1本、三尺1本
- ・東生井自治会 (小山市) 半鐘1口
- ・生井康誠 (小山市) 民家模型1点



発行年月日 平成21年8月15日

発行 小山市立博物館

〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7

(JR宇都宮線間々田駅西口下車徒歩10分)

電話 (0285) 45-5331

ファックス (0285) 45-5247

印刷 (株)ダイサン小山